

戦略的国際科学技術協力推進事業（日本－フィンランド研究交流）

1. 研究課題名：「ヒト由来の培養促進添加物の開発」
2. 研究期間：平成 23 年 5 月～平成 26 年 3 月
3. 支援額： 総額 15,000,000 円
4. 主な参加研究者名：

日本側（研究代表者を含め 6 名までを記載）

	氏名	所属	役職
研究代表者	澤 芳樹	大阪大学医学系研究科心臓血管外科	教授
研究者	坂口 太一	大阪大学医学系研究科心臓血管外科	准教授
研究者	宮川 繁	大阪大学医学系研究科心臓血管外科	講師
研究者	齋藤 充弘	大阪大学医学部附属病院, 未来医療センター	講師
研究者	白川 幸俊	大阪大学医学系研究科心臓血管外科	准教授
研究者	西 宏之	大阪大学医学系研究科心臓血管外科	助教
参加研究者		のべ	31 名

相手側（研究代表者を含め 6 名までを記載）

	氏名	所属	役職
研究代表者	Esko Kankuri	University of Helsinki, Institute of Biomedicine	Docent
研究者	Ari Harjula	University of Helsinki, Institute of Biomedicine	Professor
研究者	Jozef Bizik	University of Helsinki, Institute of Biomedicine	Senior Researcher
研究者	Matti Korhonen	Finnish Red Cross Blood Service	Senior Medical Officer
研究者	Antti Vento	University of Helsinki, Department of Clinical medicine, Surgery	Docent, Specialist in cardiac surgery
研究者	Tommi Pätillä	University of Helsinki, Department of Clinical medicine, Surgery	Specialist in cardiac surgery
参加研究者		のべ	12 名

5. 研究・交流の目的

心不全治療に使用する細胞シートをより効率的に作製するための添加剤開発を通じて若手研究者の育成と持続的な研究ネットワークの構築を目的としました。

6. 研究・交流の成果

6-1 研究の成果

大阪大学の細胞シート作製技術や重症心不全に対する再生医療臨床応用の経験と、ヘルシンキ大学におけるネモーシス現象というそれぞれの得意分野の知識を持ち寄り、共同研究

を実施しました。双方の技術協力により、臨床用細胞シートの効率的な作製、治療効果の向上が示唆される成果を得ました。

#### 6-2 人的交流の成果

大阪大学とヘルシンキ大学間で若手研究者を交換し、共同研究を行いました。更に、両施設との共同セミナー・ミーティングを定期的に行い、若手研究者の研究成果の発表を行うことで、次世代の中核を担う若手研究者の人的育成を行いました。

#### 7. 主な論文発表・特許等（5件以内）

相手側との共著論文については、その旨を備考欄にご記載ください。

論文 or 特許	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の場合： 著者名、タイトル、掲載誌名、巻、号、ページ、発行年</li> <li>・特許の場合： 知的財産権の種類、発明等の名称、出願国、出願日、出願番号、出願人、発明者等</li> </ul>	備考
論文	Imanishi Y., Inducible nitric oxide synthase expressed by mesenchymal stromal cells has immunomodulatory effects, but exacerbates tumourgenicity in a rat allogeneic cell transplantation mode	準備中
論文	Siltanen A., Purification of induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes by selective binding to Y.	準備中
特許	Yを用いた心筋細胞分手法	準備中